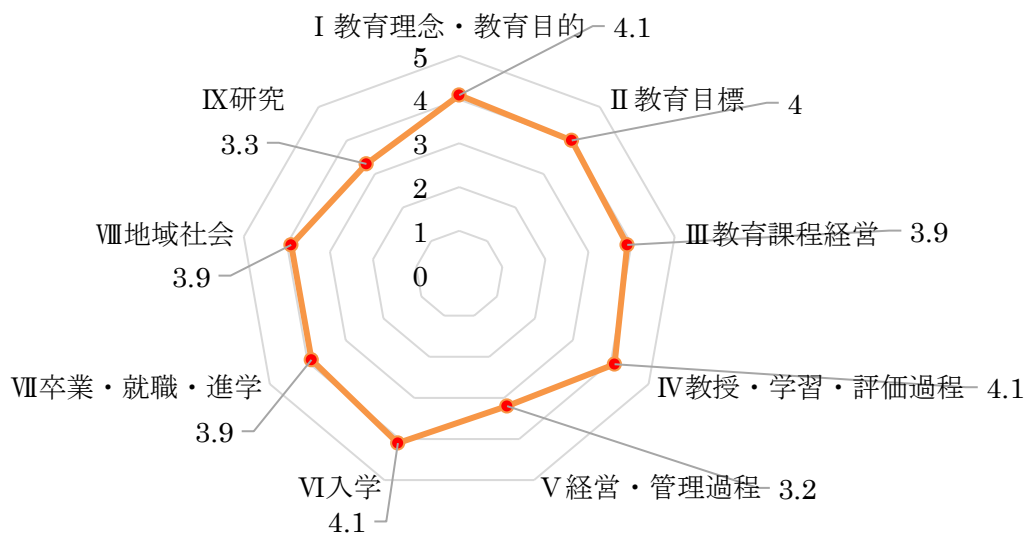


平成 30 年度土浦看護専門学校の学校評価

土浦看護専門学校の教育理念・教育目的は、「徳育」を基盤とし、地域に根差して活躍できる心豊かな質の高い看護師育成を目指しています。この教育理念に基づく教育水準の維持・向上を図るため、平成 26 年度に第 1 回卒業生を出したことを機に、学校運営評価を実施しています。

評価は「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」を基に、9 領域 123 項目で構成され、5「非常に当てはまる」、4「当てはまる」、3「どちらともいえない」、2「当てはまらない」、1「非常に当てはまらない」の 5 段階で評価しました。

平成 30 年度の学校評価は以下の通りでした。



9 領域のうち「I 教育理念・教育目的」「II 教育目標」「IV 教授・学習・評価過程」「VI 入学」の 4 領域については、4.0 以上の結果となりました。また、「V 経営・管理過程」「IX 研究」が 3.5 以下の結果となりました。

本校は平成 25 年に開校後、平成 29 年度で 2 年課程が閉課し、平成 30 年度から 3 年課程のみの運営となりました。「V 経営・管理過程」については、学校が運営の過渡期にあり、自己点検・自己評価がフィードバックされにくい状況であったことが考えられます。今後、自己点検・自己評価システムの円滑な運用を進めていきます。

「IX 研究」では、教員は研修や学会参加は積極的に行っていましたが、自己の研究活動が行えていないことが明らかとなりました。各教員が教授活動の傍らでも自己の研究に取り組むことができるよう、支援体制を整えていきたいと考えています。

また本校は、平成 30 年度から文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成」事業として「学び直し講座による潜在看護師の復職支援モデル事業」の開発、茨城県の国体選手の強化施設として武道館の開放などを行っています。地域のニーズを捉えた社会貢献のための活動にも積極的に取り組んでいます。